学校番号	１００７

令和３年度　体育科

教科	体育	科目	スポーツⅡ	単位数	２単位	年次	２年次
講座名	ネット型競技						
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ネット型の球技に共通する状況に応じたボール操作の基本技術を高めよう。
・マナー、ルールを理解して、仲間と連携した動きを学び安全に楽しく練習やゲームが出来るようになろう
・自己のチームや相手チームの特徴に応じた作戦を立てて勝敗を競う楽しさや喜びを味わおう。

2　学習の到達目標

①ボールコントロールなどの正確な技術の必要性を理解する
②ゲームで必要になる技術の習得（安全で正確なルールの理解）
③個人やグループ戦術の理解（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝの重要性）
④マナーやルールの理解（ﾌｪｱﾌﾟﾚｰ精神・ｽﾎﾟｰﾂﾏﾝｼｯﾌﾟ・正確なルール・準備や片付けの自主性）
⑤基礎練習やゲームを通じての体力アップ（精神的な持続力・達成感・執着心）

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとすることなどや、健康・安全を確保することができる。	身に付けた技能や知識を活用し、チームや自己の目標に応じた課題を設定できる。戦術や目標設定などの話し合いの場面で合意を形成するための調整の仕方が身についている。	安定したボール操作や、相手の返球や守備位置などの状況に応じたボール操作によって、相手の陣地に空間を作り出すために、ボールをつないだり打ち返したりできる。	各種目の特性やねらいを理解し、ルールや技能に関する知識が身に付いている。各種目の試合形式や、運営方法、役割に応じた行動の仕方などを理解している。
評価方法	出席率 受講態度の観察 レポート 等	レポート 等	技能観察 レポート 等	レポート 等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1ターム	テニス・バドミントン	テニス ・ルール、マナーの理解 ・用具説明 ・ボールコントロール ・ストローク＆キャッチ バドミントン ・ルール、マナーの理解 ・用具説明 ・フライト練習 ・ゲーム	○		○	○	a:仲間とともに協力しながら活動し、テニスやバドミントンの楽しさや喜びを味わおうとしている。 b:自己に応じた課題をみつけている。 c:安定したボールコントロールができている。 d:各種目の特性や学び方、技術の構造などを理解している。	・受講態度の観察 ・グループ意識、チームﾌﾟﾚｰ ・技術観察
2ターム	テニス・バレーボール	テニス ・サーブ ・ボレー ・ゲーム（ダブルス） バレーボール ・ルール、マナーの理解 ・ハンドリング練習 ・アンダーハンドパス ・オーバーハンドパス	○	○	○		a:フェアなプレイを心がけて積極的にゲームに関わっている。 b:チーム内で自分に任された役割について、仲間と協力できている。 c:状況に応じたボール操作や、空間を意識してプレイできている。 d:各種目のルールを理解し、適切にゲーム運営ができている。	・受講態度の観察 ・グループ意識、チームﾌﾟﾚｰ ・技術観察
3ターム	バレーボール	バレーボール ・サーブ練習 ・サーブカット ・アタック ・ゲーム	○		○	○	a:バレーボールの特性やゲームに関心を持ち、仲間と互いに協力し、教えあいながら積極的に練習やゲームに取り組んでいる。 b:練習やゲームを通して自己の課題の解決を図ろうとしている。 c:安定したボール操作及び、状況に応じたボール操作、動きを行うことが出来ている。 d:ルールを理解し、適切にゲーム運営ができている。	・受講態度の観察 ・グループ意識、チームﾌﾟﾚｰ ・技術観察

4ターム	卓球・テニス・バレーボール	卓球 ・ルール、マナーの理解 ・用具説明 ・ラリー ・サーブ ・スマッシュ ・ゲーム テニス ・ゲーム バレーボール ・ゲーム	○	○	○		a:フェアなプレイを心がけて積極的にゲームに関わっている。 b:チーム内で自分に任された役割について、仲間と協力できている。 c:状況に応じたボール操作や、空間を意識してプレイできている。 d:各種目のルールを理解し、適切にゲーム運営ができている。	・受講態度の観察 ・グループ意識、チームプレー ・技術観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。